



# 動物レスキュー通信

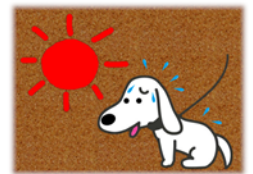
2014年8月 第14号 (平成26年7月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## 知って下さい!

### 犬猫の熱中症



7月に入り、もうまもなく梅雨も明け、暑くなってくる頃ですね。都会ではビルとアスファルトばかりでも暑く、エアコンなしで耐えるのはとても困難です。それはかりではなく、あまり暑さを我慢し過ぎると、例えば部屋の中によっとも熱中症になるリスクが伴います。まして人間とは違い全身を毛でおおわれているワンちゃん、ネコちゃんはもっと大変なのです。冬用の被毛から夏用の被毛に生え換わり、人間で言う衣替えをするとは言え、毛におおわれている事には変わりはなく、とても暑いのです。暑いからと言ってエアコンや扇風機を付けたら、自分の意思で自らエアコンや扇風機を付けると言う訳にも行きませんので、必ず飼い主さんの気遣いが必要となります。そこで今回は、暑い夏を乗り切るために、愛犬、愛猫の為にどんな事に気を付けてあげればよいか、というお話をさせて頂きたいと思います。

### 犬猫の体温調節

まずはワンちゃん、ネコちゃんの体をよく観察してみてください。先程も言いました、その身体のほとんどは毛でおおわれているのが分かるはずです。毛がない部分と言えば、目、鼻、口、そして肉球のみだと気が付くはずです。この毛におおわれていない肉球と全身で汗をかくのですが、全身は毛でおおわれていますので、そこで熱を発散して体温調整するのは難しいのです。ですから自然と熱を発散してくれるのは肉球のみですが、それだけでは補えないので、

ワンちゃんの場合は「はあはあ」と舌を出して呼吸する事により、肺に入った熱い空気を吐き出して、外の涼しい空気を吸い込むという事を繰り返して体温調節をしています。ネコちゃんの場合はワンちゃんと同様に肉球と、そしてネコちゃんはワンちゃんよりも「はあはあ」と呼吸する事はないので、どのようにしているかというところ、毛づくろいによつて自らの体を湿らせ、体温を下けているのです。逆に言えば、室温や湿度があまりにも高い状態にネコちゃんを置いてしまい、呼吸がワンちゃんのように「はあはあ」としていれば、かなり危険な状態にあるという事です。

### 犬猫は絶対的に悪条件

皆さんよくご存じかと思いますが、ワンちゃんにとつて、お散歩は運動やストレス発散、社会化など様々な理由でとても大切な事です。そして飼い主さんにとつても同様の効果があり、とても楽しいものであると思つています。しかし夏のお散歩は、一歩間違つると、ワンちゃんにとつても、飼い主さんにとつても命が危険にさらされてしまつ可能性があります。最近ではテレビなどでも紹介していますが、お母さんとベビーカーに乗つた赤ちゃんの温度差は、約4度だと言われています。最近では日中35度を超す猛暑日も珍しくない事ではなくなりました。そうするとベビーカーに乗つた赤ちゃんの温度差は、約4度だと言われています。最近では日中35度を超す猛暑日も珍しくない事ではなくなりました。そうす

るとベビーカーに乗つた赤ちゃんの位置での温度は40度にも達しているという事です。そしてそのベビーカーの位置よりも更に低い位置を歩くワンちゃんでは、アスファルトの熱気そのまま受け、その上、照り返しまで受けるとなると、飼い主さんには想像できないような暑さにまでなつているという事です。ですから、この時期のお散歩は、飼い主さんもワンちゃんも快適に過ごせる早朝もしくは夜にしてあげてください。その際もワンちゃんが脱水症状にならない為にお水を持参して飲ませてあげるなどの配慮をしてあげてください。そして万が一ワンちゃんが熱中症にかかつてしまった場合は、いち早く日陰の風通しの良い所に移動し、ワンちゃんの体に水をかけたり、濡れたタオルで体を拭いてあげるなど、出来るだけ体温を下げる応急措置をとり、必ず獣医さんに診てもらつて下さい。そのまま放置してしまつては最悪の事態を招いてしまつ可能性があります。そしてお散歩に出かけるワンちゃんだけではなく、ネコちゃんにも注意が必要ですが、ネコちゃんも暑さを感じると自ら涼しい場所を求めて移動します。キャットタワーや愛猫の行動をよく観察していると分かるように、ネコちゃんは高い所が大好き。そして暖かい空気も軽いので上へ上へと移動したまつてしまいます。ですから、飼い主さんが気付かない間に熱中症にかかつてしまつケースもありますので、ネコちゃんのお気に入りの場所や、キャットタワーの上などに、ひんやり涼しい素材のマットなどを敷いてあげたり、上方に暖かい空気が停滞してしまわないように扇風機などを上手に利用して、お部屋の空気を循環させてあげると良いでしょう。くれぐれも扇風機はネコちゃんがけがをしてしまわないようにネットをかぶせるなどの配慮を忘れずに! そしてネコちゃんがいっぱい新鮮なお水が飲めるようにする事も大切です。

詩月財団では、飼い主さんにも有益な情報を発信し、これからも犬猫たちの命を守るために活動してまいります。(詩月)